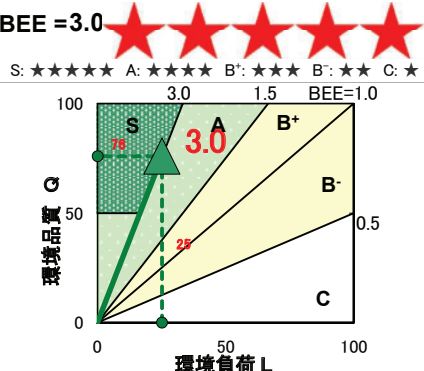
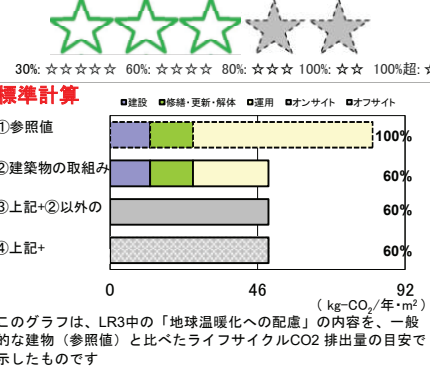
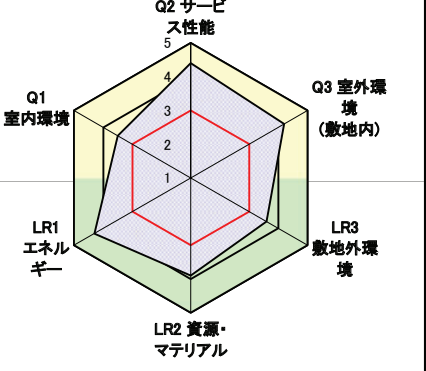


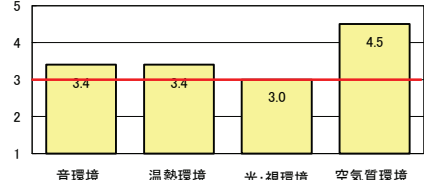
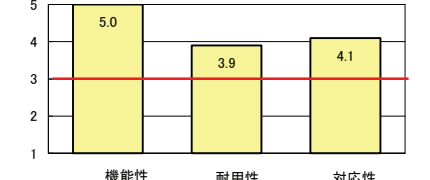
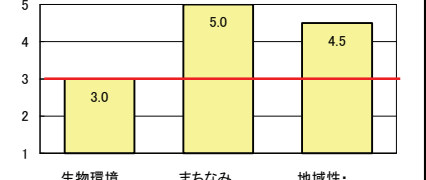
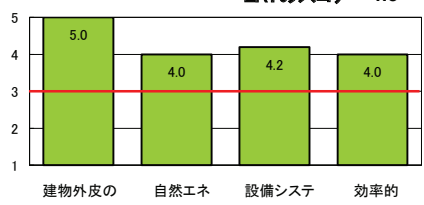
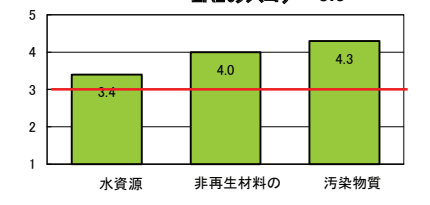
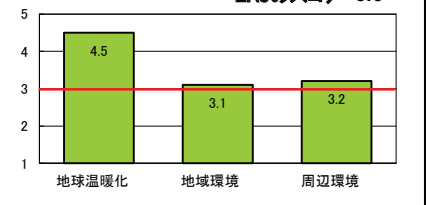
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 速報版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	西明石地域交流センター icotto	階数		
建設地	兵庫県明石市西明石南町三丁目60	構造		
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集会所	評価の段階		
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日		
敷地面積	1,644 m ²	作成者		
建築面積	1,404 m ²	確認日		
延床面積	3,909 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 3.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 4.0		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 4.4 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 4.2 
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.9		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.9 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6 

3 設計上の配慮事項		
総合 誰もが使いやすい、各階のにぎわいがつながり、新たな交流が創出できる地域交流センターである。さらに、豊かな屋外空間を設けることで、敷地内での多様な活動が地域とつながる計画としている。省エネルギー・創エネルギー、ライフサイクルコストに配慮し、持続可能な建築物である。		
Q1 室内環境 設計換気量は建築基準法を満たす換気量の1.4倍以上を確保し、24時間換気とすることで室内の空気を健全に保つことに配慮している。	Q2 サービス性能 移動等円滑化誘導基準を満たし、空間の使いやすさに配慮している。また、躯体材料や内装仕上げ、設備配管は耐用年数が優れているものを採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) ピロティ空間や各階にテラスを設けることや、1階フリースペースに面して隣地公園と一体的に整備をする屋外広場を計画することで、建築物内での多用途な活動が地域の賑わいにつながるよう計画している。
LR1 エネルギー 標準入力法にてBEL=0.43となっており、ZEB Readyを達成している。また、太陽光パネルを設置し、創エネルギーにも配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具を採用している。また、躯体材料や内装仕上にリサイクル材料を使用し、資源の使用量の削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される